

大正五年四月六日第三種郵便物認可大正十四年六月二十五日印刷納本(毎月一回一日發行)

# 哲 學 研 究

第十卷第七冊

第百二十二號

大正十四年七月一日發行

現代に於ける教育學の基礎付け(三)

文學士 長田新

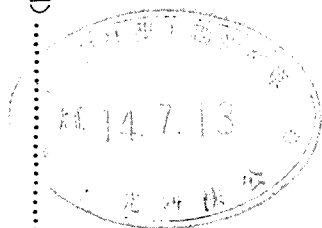
菅家遺誠とその和魂漢才說……………文學士 加藤仁平

直觀知と物自體(承前)……………文學博士 田邊元

惡に就て……………文學博士 西晉一郎

理念に就いての歴史的と非歴史的……………

……………ロバート・シンチンゲル



京都帝國大學文學部

京都哲學會

## 京都哲學會規則

- 第一條 本會ヲ京都哲學會ト稱ス
- 第二條 本會ハ廣義ニ於ケル哲學ノ研究及其普及ヲ以テ目的トス
- 第三條 本會ハ前條ノ目的ヲ達センガ爲メ左ノ事業ヲ行フ
- 一、毎月一回研究会ヲ開ク
  - 一、毎年春秋二回公開講演會ヲ開ク
  - 一、毎月一回雜誌『哲學研究』ヲ發行ス
- 第四條 本會事務所ヲ京都帝國大學文學部内ニ置ク
- 第五條 本會ノ事業ヲ經營スル爲メニ左ノ役員ヲ置ク
- 一、委員(若干名) 京都帝國大學文學部哲學科教官及委員會ニ於テ推薦シタル者ヲ以テ之ニ充ツ
  - 一、書記(一名) 委員會ニ於テ囑託ス
- 第六條 本會ノ趣旨ニ賛同スル者ハ何人ニテモ會員タルコトヲ得
- 學校、圖書館、教育會、其他ノ團體ハ其團體ノ名ヲ以テ入會スルコトヲ得
- 第七條 會員ハ會費トシテ年四圓四拾錢、前後二期ニ分チテ前納スベキモノトス
- 第八條 會員ハ本會ノ諸種ノ會合ニ出席スルコトヲ得且ツ雜誌、『哲學研究』ノ配付ヲ受ク
- 第九條 本會規則ノ改正變更ハ委員會ノ決議ニ依ル

## 京都哲學會役員

### 委員

文學士	伊藤
文學士	植田
文學博士	狩野
文學博士	小西
文學士	高坂
文學士	澤村
文學博士	高瀬
文學博士	田邊
文學博士	千葉
文學博士	朝永
文學博士	西田
文學博士	野上
文學博士	波多
文學博士	深田
文學博士	藤井
文學博士	松本
文學士	務臺
文學博士	米田
	庄太郎
	作
	三郎
	治郎
	康算
	精一
	俊夫
	多郎
	三十郎
	胤成
	元
	次郎
	專太
	正顯
	重直
	喜藏
	典

# 前 號 目 次

菅家遺誠とその和魂漢才説……………	文學士 加藤 仁 平
社會學の一元論的方針とモナド論的方針……………	文學士 淡 德三郎
理念に就いての歴史的と非歴史の……………	ロバート・シンチンゲル
教育哲學の要綱……………	文學士 伊 藤 猷 典
過渡經驗に就て……………	文學士 大 脇 義 一
モリアの宗教發生論……………	文學士 菅 圓 吉

告 會

- 一、本會へ入會希望者ハ京都市西洞院七條南内外用株式會社内京都哲學會宛テニ規定ノ會費(前表紙裏ニアリ)御納付ノ上御申込被下度候
- 一、會員ニシテ轉居入退會等(編輯事務以外ノ一切)ノ事務ハ内外出版株式會社内京都哲學會へ御通知被下度候
- 一、會費ハ振替口座大阪〇六六三番、内外出版株式會社内京都哲學會宛テニ御拂込被下度候
- 一、本誌ノ編輯ニ關スル通信及紹介 新刊書・寄贈雜誌等ハ凡テ本會宛テニ御發送被下度候

京都帝國大學 京都哲學會  
文學部 内

定 規 文 註

- ◎ 會員にあらざる購讀者の御注文及び廣告に關する件は内外出版株式會社へ御申込下され度候
- ◎ 本誌の御注文はすべて代金郵税共前金にて御送り下さるべく候
- ◎ 振替貯金にて御送金 (振替大阪三二九五番三九三一番東京三九三一番)内外出版株式會社宛に願上候
- ◎ 前金切れの場合は帶封に「前金切」の印章捺捺致すべきに付直に御拂込下され度候
- ◎ 特に請求書及領收書等を要する場合は郵券參照御送付下され度候

冊	定 價	郵 税
一冊	金四拾錢	金壹
六冊 (前金)	金貳圓四拾錢	金壹
十二冊 (前金)	金四圓八拾錢	金壹

廣告料 一頁 金參拾圓 半頁ハ取扱不申

大正十四年 六月廿五日印刷納本  
大正十四年 七月一日發行  
第百十二號 第七卷

製複許不  
載 轉 禁

編輯者 京都帝國大學文學部内  
右代表者 伊藤猷典  
發行者 大谷仁兵衛  
印刷者 田中一郎  
印刷所 京都市西洞院七條上  
京都市西洞院七條南

發行所

京都市下京區西洞院七條南  
内外出版株式會社

本社 京都市下京區西洞院七條南  
出張所 京都市京橋區加賀町十番地  
販賣所 京都市神田區錦町一ノ一

賣捌所 (大阪) 盛文館 三文社  
(神戸) 寶文館 川瀬書店  
(京都) 共盛社 大盛社

(東京) 東京堂 東海堂 北隆館  
上田屋 至誠堂

衆議院議員  
前大阪市長

山橋儀重著

最新刊

# 歐米革新教育の實際

小西博士は本書に序して

「畏友山橋代議士は京大文學部の業を卒り、多年教育の實際及教育行政の事務に當り一方の重鎮であつた。最近戦後の歐米を視察し、是に「歐米革新教育の實際」を脱稿された。君は頭腦明晰、加ふるに外國語に堪能なるを以て到る處議論を上下し、又直接に諸種の教育事業に参加して體驗的に其眞實相を捉へ來たり、其獨特徹底的な觀察は到底一般視察者の追従を許さぬものがある。公刊に際し世界的知識の寶庫として一言祝辭を呈するは私の最も光榮とする所である。」と激賞せらる。我が國教育の現状を打破して、眞に將來の教育を建設せなければならぬ秋に際し、敢て此の良書を江湖に薦む。

四六判 袖裝  
三百二十頁  
定價金貳圓五拾錢  
送料書留 拾八錢

本社 東京市西洞七條南  
振替六三九一三番  
内外出版株式會社  
東京市神田區錦町一ノ九番  
振替四七四七六番  
東京  
東  
販  
賣  
部

(大正五年四月六日)大正十四年六月二十五日印  
第三種郵便物認可(大正十四年七月一日發行)每月一回(一日發行)

哲學研究 第一百十二號

定價金四十錢

郵税金壹錢